

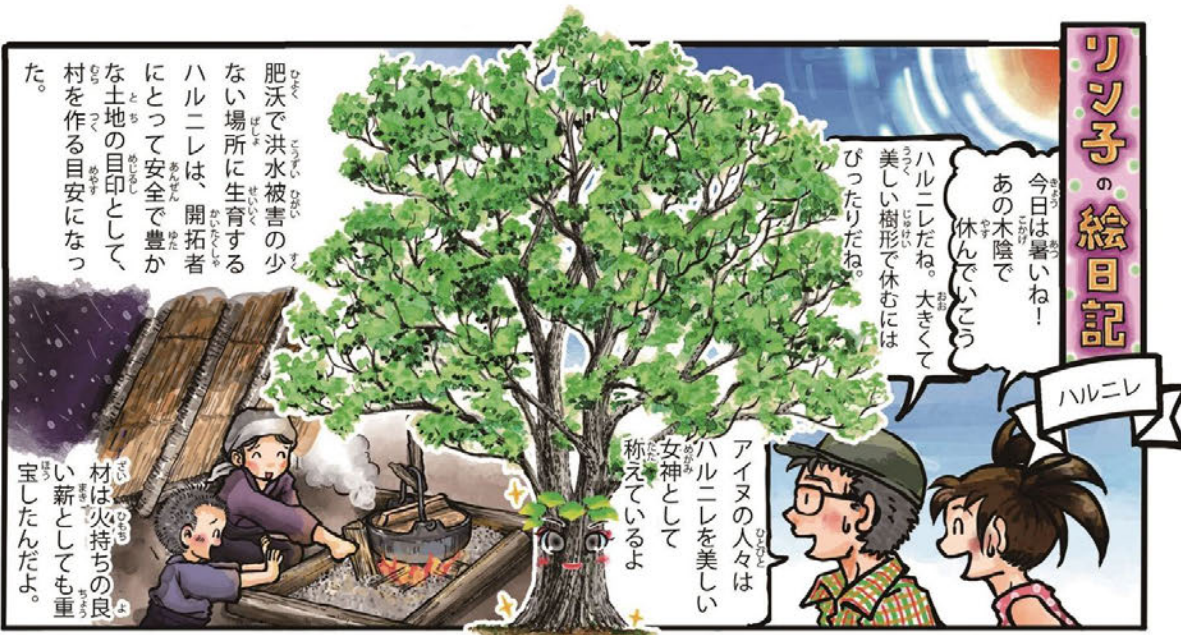
# ハルニレ

ニレ科  
ニレ属  
樹高 30m

春

葉よりも先に  
花が咲く

## リン子の絵日記



今日は暑いね！  
あの木陰で  
休んでいこう  
ハルニレだね。大きくて  
美しい樹形で休むには  
ぴったりだね。

アイヌの人々は  
ハルニレを美しい  
女神として  
称えているよ

肥沃で洪水被害の少  
ない場所に生育する  
ハルニレは、開拓者  
にとって安全で豊か  
な土地の目印として  
村を作る目安になっ  
た。

材は火持ちの良  
い薪としても重  
宝したんだよ。

ハルニレ



ニレ属の仲間はず世界  
の森に分布し、優美な  
姿から公園などでも親  
しまれてきた。  
ところが近年キクイム  
シの運ぶニレ立枯病が  
急速に拡大

ヨーロッパや  
北アメリカの  
ニレは絶滅の  
危機にあるん  
だ。

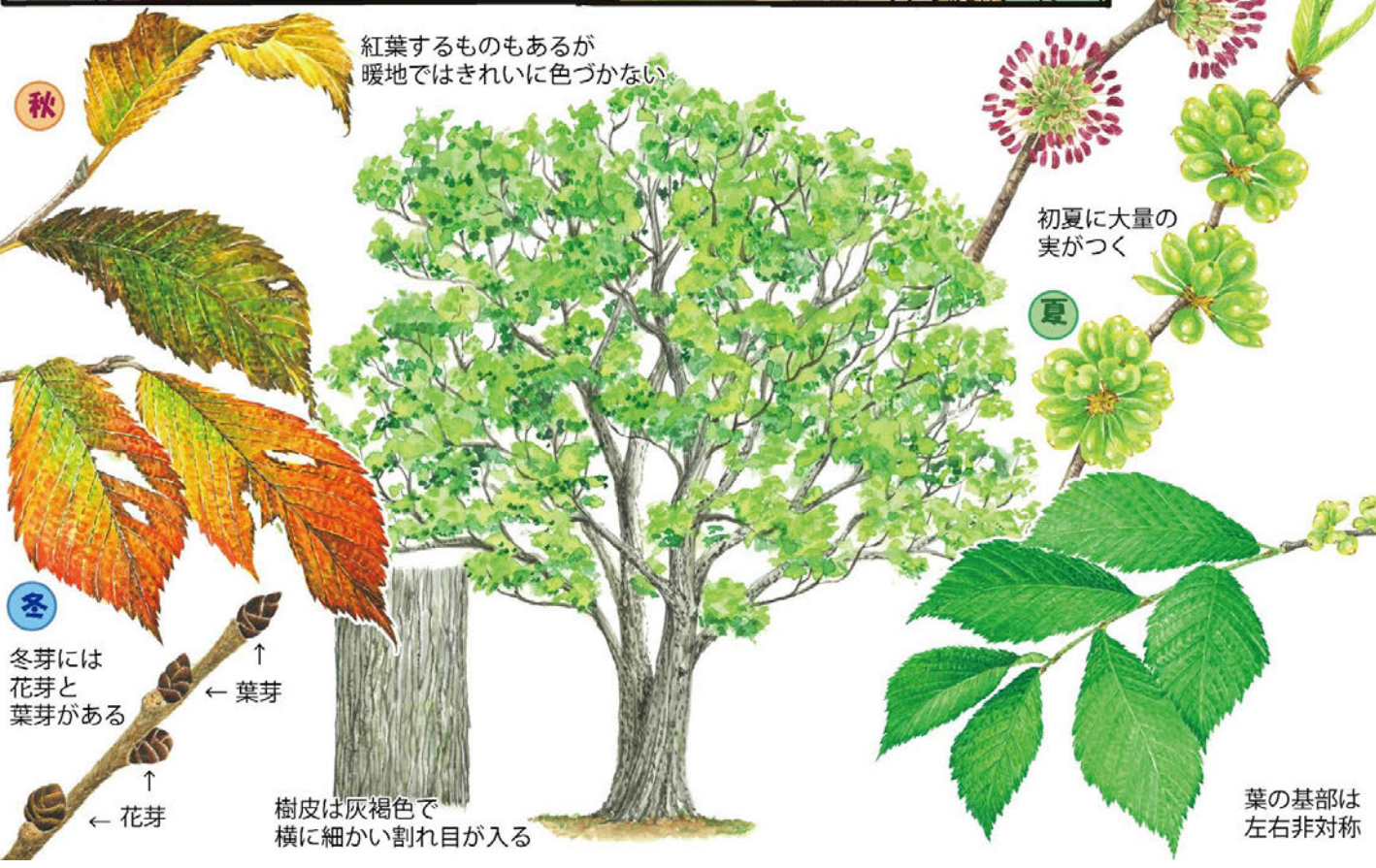
セスジキクイムシ  
海外でニレ立枯病の  
媒介役となる

日本のハルニレはこの病気に  
ある程度抵抗性があるんだ。

頑張れ  
女神の木！

初夏に大量の  
実がつく

夏



紅葉するものもあるが  
暖地ではきれいに色づかない

秋

冬

冬芽には  
花芽と  
葉芽がある

花芽  
葉芽

樹皮は灰褐色で  
横に細かい割れ目が入る

葉の基部は  
左右非対称



# シナノキ

アオイ科  
シナノキ属  
樹高 20 ~ 25m

## リン子の絵日記

シナノキ

わあっかわい  
い  
木彫りの熊！

シナノキから  
彫られた、  
鯉背負い  
熊じゃ。

一昔前、  
北海道土産といえ  
ばこの木彫り熊じゃった。

1922年尾張徳川十九代当主・徳川義親は旅先のスイス  
で見つけたお土産品の木彫りの熊を、翌1923年かつて  
尾張藩士達が開拓した道南の八雲に持ち込んだ。

農閑期の貴重な収入源に、また美術に触れて暮らしを豊か  
にして欲しいという義親の願いと共に、木彫りの熊づくり  
は全国各地に広がっていったんじゃ。

ほとんどの工芸家は「刃物を痛めない」とし  
て、軽く柔らかいシナノキで熊を彫った。

同時に色が白く、木目が穏やかで大きく成長  
するシナノキは、シナ合板としても活用され、  
北海道の経済を支えたんじゃ。

さらに花からは  
蜂蜜もとれる！

私も蜂蜜  
大好き!!

春

ハート型の  
葉が開く

実にはプロペラ状の  
総苞葉にぶら下がっており  
風に乗って  
遠くまで飛ぶ

秋

冬

冬芽  
芽鱗は  
大小2枚

樹皮は暗灰褐色で  
縦に浅く割れ目が入る

夏

初夏に開花する花は  
レモンのような甘い香り



# ハンノキ

カバノキ科  
ハンノキ属  
樹高 15 ~ 20m

## リンネの絵日記

ハンノキは雄花に雌花、実と冬でも色々とぶら下げているから見分けやすいね。

ハンノキ

あの木、何かぶら下がってる

カワラヒワ

あれは果穂。中に入っている種子は鳥達にとつて、餌の少ない冬の貴重な栄養なんだ。

小さなまつぼっくりみたい

小さな種子を風で飛ばして開けた場所ですぐ成長するパイオニア種なんだよ。

皮目から根に空気を送ったり…

あれ？ハンノキの根元が水につかちやってるけど大丈夫なのかな？

盛んに萌芽したり…  
菌(根粒菌)と共生して空気中の窒素を取り込んだりして、他の木が生きられない湿地でも成長できるんだ。

ハンノキは水分が多いところでは多くの不定根を出したり…

パイオニア開拓者かっこいい！

雌花序

雄花序

春

花は早春の暖かい日にあつという間に開花する

夏

花に次いで左右非対称の葉が開く実が膨らみ始める

秋

種子

まつぼっくりのような実(果穂)が熟す

冬

葉の入った冬芽は少しべたつく

↑ 雌花序の冬芽

雄花序の冬芽 →

樹皮は不規則に浅く裂けてはがれる



# カツラ

カツラ科  
カツラ属  
樹高 30m

## カツラの絵日記

カツラ

なんだが甘い香りがするね

立派なカツラだね  
北海道で最も  
大きな木  
のひとつだよ。

秋に枯れた葉からは  
甘い香りがするから  
「香出ら」カツラの  
名前がついたとされて  
いるんだ。

落ち葉  
切ったペットボトル  
に入れる

春には紅色の花と新葉が開く。

春なのにカツラだけ紅葉  
しているみたいに見えるよ。



カツラの大木には  
洞がよくできる。  
アイヌの人たちは狩りの時、  
この洞で風雪をしのいだらしいよ。

わあ！  
大きな穴！

また、カツラは丸木舟を作るのにも  
一級品として、大切にされてきたんだ

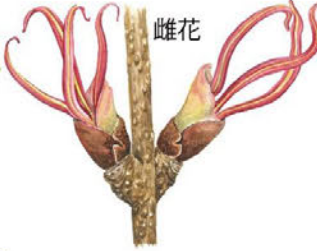


雄花



開いたばかりの  
新葉は紅色のハート型

春



雌花



秋 葉が黄色に色づく  
枯葉からは  
甘い香りがする

はねのついた種子



冬

冬芽

樹皮は縦に浅い  
割れ目がねじれて入る



夏 バナナのような  
実(袋果)ができる



# イチイ

イチイ科  
イチイ属  
樹高 10 ~ 15m

## リン子の絵日記



春 花が咲く雌雄異株



雄花の多くは前年の枝に咲く



秋 赤い実が熟す中に種子が1つ入る



冬



冬芽



夏 葉はとがるが触っても痛くない



樹皮は薄く浅い裂け目が目立つ





## 発行 林野庁 林野図書資料館

林野図書資料館は国立国会図書館の支部にあたり、林野行政・施策部門における専門図書館として、森林・林業・木材産業関係の資料を広く収集、保存しております。

当漫画は日本人と木の文化をより多くの方々にご紹介し、日本の森林・林業の応援団になっていただきたいという思いを込めて作成いたしました。

他の漫画シリーズも林野庁のHPからご覧いただけます →



### 林野庁 林野図書資料館

〒100-8952

東京都千代田区霞が関1の2の1

電話:03-3502-8111(代表)

